

製品名: RUNX1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81874**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	48.7kDa

抗原情報

遺伝子名	RUNX1
別名	AML1; CBFA2; EVI-1; AMLCR1; PEBP2aB; CBF2alpha; AML1-EVI-1; PEBP2alpha
遺伝子 ID	861.0
SwissProt ID	Q01196
免疫原	大腸菌で発現したヒト RUNX1 (AA: 237-337) の精製された組み換え断片。

背景

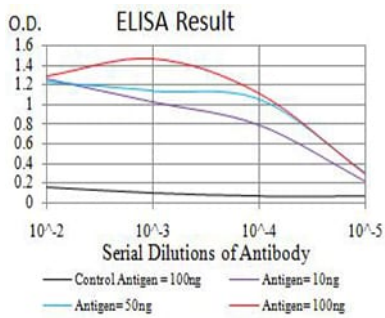
コア結合因子 (CBF) は、多くのエンハンサーおよびプロモーターのコアエレメントに結合するヘテロ二量体転写因子です。この遺伝子によってコードされるタンパク質は CBF の α サブユニットを構成し、正常な造血の発生に関与していると考えられています。この

遺伝子が関与する染色体転座は十分に報告されており、いくつかの種類白血病と関連付けられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見つっています。

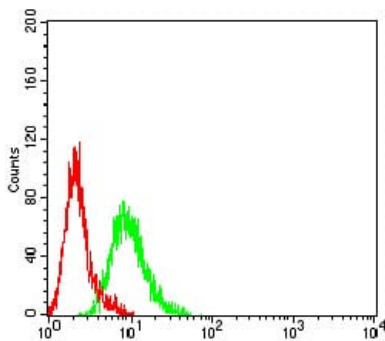
研究分野

-

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



RUNX1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。